



お茶を飲みながら、
ぎのわんの歴史を
のぞいてみませんか？

今年度の茶ぐわくゆんたくのテーマは「娯楽」！第2回となる今回は「戦時下・戦後の芝居」について、紹介します！

沖縄芝居

▽戦世と芝居の規制

沖縄芝居は方言で成り立っていますが、日中戦争(1937「昭和12」年以降の戦時下においては方言が禁止され、内容も敵討ちや軍事擁護などの戦意高揚劇が奨励されて、日本軍による脚本・上演の検閲もありました。

▽戦後の復興

戦後、米軍の施政下になると、今度は米軍の規制を受け、戦前に奨励された軍事もの、とくに敵討ちなどの上演は禁止されました。とはいえ、沖縄戦で憔悴しきつた住民を鼓舞するため、芝居などの演劇自体は奨励され、1946(昭和21)年には沖縄民政府直営の「松中部担当」「竹(北部担当)」「梅(南部担当)」劇団が結成されて、県内各地で巡回公演を行いました。宜野湾には松劇団が営業し、宜野湾区にあった宜野湾劇場(1949「昭和24」)〜1953「昭和28」年頃)などで公演を行いました。

村芝居(ムラアジビ)

沖縄には、沖縄芝居などの商業演劇の他に「ムラアジビ」といわれる、豊年祈願の地域の芸能祭があります。宜野湾でも、戦前は野嵩・普天間・新城などで催されていました。

▽世替わりと村芝居

戦時下では、村芝居も沖縄芝居と同様に日本軍による規制を受け、本来の豊年祈願ではなく、軍の慰問として女子青年が行っていました。

その後、1945(昭和20)年に終戦を迎えると、本来の村芝居が再開されましたが、村芝居にも米軍の規制が及び、組踊の敵討ちなどの演目は禁止されました。

また、戦前の出演者は男性のみでしたが、戦争で男性がいなくなり、女性も参加するようになりました。



▲戦後間もない頃に使用した野嵩の村芝居の衣装(左)と兜(右)
戦後の物資が乏しい時期には、あるもので工夫して道具を作った。左の衣装は蚊帳を加工し、米軍から配給されたチューインガムの包み紙(アルミホイル)を丸めて縫い付け、飾りつけている。

沖縄戦を境に、村芝居が途絶えた地域も多いですが、野嵩では1946(昭和21)年に「又チヌスージ(命の祝事)」として村芝居が行われ、普天間・新城でも再開し、住民の心を癒すとともに、活力と喜びを与えました。



▲大山・帰村一周年祝い 1948(昭和23)年
戦後、收容所から元の集落に帰ってきたこと(帰村)を祝い、村芝居が行われた。

はくぶつかん情報

市立博物館ロビー展

「ぎのわんから岩国市の魅力、発信！
〜錦帯橋周辺の写真・パネル展〜」

令和7年7月1日に宜野湾市と姉妹都市協定を結んだ、山口県岩国市の歴史や文化を、写真で紹介いたします！

- ▼期 間 6月27日(土)〜8月14日(金)
▼場 所 市立博物館 展示ロビー
▼料 金 無料

市民講座受講生募集！

「宜野湾の自然」

市内の動植物について、写真や図を交えて紹介します！ ※室内講座

- ▼講 師 千木良芳範(元市立博物館 館長)
▼日 時 8月2日(日) 14時〜16時(受付13時半)
▼場 所 市立博物館2階 研究室
▼参加費 無料
▼定 員 40人
▼申込期間 7月12日(日)9時〜
※定員に達し次第締切

「こども博物館教室」参加者募集！

夏休みは博物館で、ものづくりを通して沖縄の歴史や文化を楽しく学ぼう！

- ①漆喰シーサーづくり 8月1日(土)
②私たちの足元には何がある？ 8月13日(木)
③セミの抜け殻標本づくり 8月17日(月)
内容・日時は変更になる場合があります。
詳細はホームページをご確認ください。

▼講 師 ①比嘉清順(わにやシーサー振興会 会長)

- ②新山颯大(琉球大学 助教)
③市立博物館職員

▼時 間 各回10時〜12時(受付9時半)

▼参加費 ①2,050円(材料費十中保険料)
②③50円(保険料)

▼定 員 各回20人(定員に達し次第締切)

▼申込期間 7月11日(土)〜
各開催日の3日前

- ▼開 館 市立博物館 ☎870-9317
※休館日：火曜日・祝日(慰霊の日)は開館
※開 館：9時〜17時